

番号	分類	提出いただいた意見の要約	意見に対する市の考え方	
1	構想について	20年後の姿として駅前店舗を誘致する計画だが、多くの人々が駅前に来るようにするには必要なことだと思う。	ご指摘の点も踏まえ、本計画に基づき魅力ある中心市街地活性化に取り組んでいく予定です。	
2		基本計画に賛成する。これまで中心市街地に投資し出来上がった施設の有効活用・連携を図るハブとしての最終仕上げとしてこの計画に期待する。これまでの施設が生きるような計画案が必須であると考え、郊外から中心市街地にわざわざ出かけて行きたくなるような、賑わいのある楽しい街になることを望む。		
3		市民の誇れる街、世界に誇れる街となるよう期待をしている。		
4		車やトヨタのある町らしい駅前開発を期待する。		
5		トヨタ自動車の本社がある街とのメッセージを込めることができないか。		
6		クルマの街から人が憩える街への早期転換を望む。		
7		年寄りにも優しい街が考えられないか。		
8		高齢者に優しい町、人とのつながりが残る町、住民が郷土を感じられるものにして欲しい。		
9		豊田市(拳母町)の歴史を大切に、昔の風情を残した味のある街にして欲しい。		
10		基本計画の中身は「きれい」とは思うが、無機質なモノ(建物など)が多く「美しい」とは思えない。		
11		箱物事業で本当に人が集まるのか疑問。南側のコモ・スクエアの現状を見る限り、もっと何がしたいのかを明確にすべき。		
12		無駄な箱物をつくり、影で豊田市は金持ちだと印象づけするだけである。市民の税金を無駄にするのであれば、断固反対の意思をあげさせていただきます。		
13		「箱物施策」の反省をすべき。重要なのは「入れ物ではなく中身」。		
14		ハード整備の完成後、多額の税金を投入せずに済むように「都市経営」に力を入れてほしい。		
15		目指す将来像が「緑の環境都市軸」では、おかしい。中心市街地活性化のメインテーマにはならないように思う。「住みやすく、歩いて楽しい魅力的な街づくり」などではないだろうか。		
16		今年のコモスクエアの完成に伴って、駅前通りから豊田スタジアムに至る歩道がとっても快適になり楽しかった。おそらく、市外からの来訪者もそう思っているはず。「スタジアムアベニュー」はとても響きが良いと思う。		
17		「環境」については、地球規模の問題となるが、出来るエリアからの積み重ねと思うので、エコフレンドリーな施策で推進していただきたい。以上は豊田市だけのためではなく、愛知県さらには日本レベルで「世界の豊田市」から情報発信できるにふさわしい「顔づくり」に豊田市民一人丸となって邁進していかねばいけないと思う。		
18		これからの中心市街地開発は、世界が注目するような「環境」をテーマにしたものであるべきだ。		
19		グローバルデザインやバリアフリー、環境への配慮などは現代社会では当たり前となりつつあるため、敢えて計画書の中で高らかに掲げるような内容ではない気がする。		
20		「活力」については、42万都市の核として豊田市中心市街地の基盤整備や賑わいは、国内外の同規模他都市と比較しても現状では未成熟であり、更なる施策が必要と考えますので、ソフトハードの両面で押し進めていただきたい。		
21		「交通」については、中心市街地と郊外との交通の利便性を高め、交通弱者にもやさしい施策の推進を望む。		
22		長期計画内に国道153号沿いの下市場から梅坪付近まで含めていただきたい。		
23		24		これまでの行政計画は「地元の皆様のご意見を聞いて…」ということばかりで進めすぎた。今回は総仕上げの計画として市民が必要としていること・望んでいるものを作る必要性から、少々の意見の相違はあっても当該地区の住民を説得し、本当に意味のあるものを作るために区域の人間も理解し協力し、豊田市の玄関口としてふさわしいものを作るべきである。
25	計画の進め方	商店街も行政依存の傾向が強く、住民主体のTMOを検討すべき。		
26	事業スピード	基本計画に賛成です。世界に名だたる豊田市の玄関口の現状がこのままではいけない。5年といわずに早急な計画の実現を望みます。		
27		基本計画の一日も早い実現を期待します。これまでの開発は決して成功とはいえないものの、効果が見え始めていると思う。街づくりは時間がかかるものだが、一日も早い実行が町の発展につながると思う。様々な方策をスピーディーに実施し、市民が世界に誇れる街を構築して欲しい。		
28	表現	多核ネットワーク型都市や都市の顔などと言葉が一人歩きしている印象がある。分かりやすい表現にすべきである。	計画内容や表現については、市民の皆様によりわかりやすい表現に努めます。	
29		30		全体
31	北街区駅前について	憩いの場である広場の先に民家があり、日常が見える状態であれば整備の必要はない。広場があるということは、人が集まることであるが、住民からのクレームが増えるであろう。クレームに対処するために広場における規制が必要になる。	住民の皆様のご理解ご協力の下、関係者との調整を行いながら進めていきます。	
32		駅前通り北側の再開発を早急に押し進めていただきたい。市民の誇れる街、世界に誇れる街となるよう期待をしている。		
33		駅前再開発のような箱物は、北開発では慎重に行うべき。		
34		コモができたことにより北側の景観が余計に悪く感じる。ここまで計画ができていながら、早急に実現して豊田市の玄関口として恥ずかしくない駅前をつくってほしい。		
35		中途半端な建物ではなく、喜多町駐車場までを含んだ規模でつくってほしい。そうしなければ導入路でまた渋滞がおき、駅前には行きにくいという印象ができてしまう。		
36		駅前の北地区の整備は早く行って欲しい。今や豊田市は工業を中心として国内のみならず、世界各国から人々がやって来てます。「豊田市の顔」は早くきれいにしたい。		
37		南開発によって豊田の町もすこきれいになったが、北のビル群とのギャップ(古い)にミスマッチなイメージを強く持っている。地域活性化を図るために北開発の早期着手をお願いしたい。		
38		コモスクエアの開発に合わせ駅前通り南側も広々とした快適な歩行空間が整備された。市外からもスタジアムを訪れる多くの方が歩く通りで、豊田市を象徴する通りとして早期の北側(北地区)の整備を望む。		
39		駅前の北側が相変わらず寂しく、南側と違った街並みの形成を望む。		
40		豊田市駅前北街区の開発を早急に進め、40万人都市の顔を形成して欲しい。		
41		北街区の開発において、環境に配慮し、低層建物や公園などを取り入れたものはないか。また、南街区で唯一評価できる点は広い歩道の整備であり、北街区においても実践して欲しい。これらの開発をスピーディーに進めて欲しい。		(仮)豊田市駅前通り北地区や豊田市駅東口駅前広場の整備については、計画の中で重要な事業として位置づけております。住民、商業者の皆様をはじめ多くの方の意見を聞き、ご理解ご協力をいただきながら、計画推進に鋭意取り組んでいきます。

番号	分類	提出いただいた意見の要約	意見に対する市の考え方		
42		中心市街地活性化は、中心市街地の居住者、事業者、商業者等だけの問題でなく、広域豊田市の顔づくり、核となる計画であり、将来を見据えるなかで、是非積極的に取り組む内容であると思う。とりわけ駅前			
43		の整備は、地権者、事業者との合意・調整が前提であるが、重要な事業だと思ふので積極的に推進していただきたい。			
44		特に北街区は市民も期待している事業である。行政と市民・企業の連携・情報伝達がスムーズに行われ、ウェルカムセンター機能整備・周年イベントの活性化等、事業効果を高めるためにもスピード感ある取組に期待している。			
45		スタジアム・アベニューというネーミングは良いが、駅の建物、駅前広場、北街区のビルが1年でも早く美しくなることを望む。			
46		トヨタの勢いそのままに、街の顔である駅前を、都市と呼ぶに相応しいものにしていただきたい。			
47		駅前の広場が狭く使いにくいロータリーであることをよく耳にする。ぜひ有効に使えるものを実現していただきたい。			
48		北地域に住む一般住民の居住する土地、家屋、建物をそのまま使用でき、日照、騒音など影響を及ぼさない計画にしてください。			
49		現在営業している商店の建て替えを基本とし、高層ビルは建てない。高くて2～3階の商店街とする。			
50		外部からの新規出店をさせない。万が一現在の土地に余剰ができる場合は、「再生商店街」に相応しい内容を厳選して出店させる。			
51		図書館によく行くが、クルマでアクセスすると中心市街地(特に駅前)の道路が狭く感じる。		中心市街地へのアクセス性を向上し、安全・安心・快適に回遊できる中心市街地の実現を、目標2の方針に掲げて取り組むものとしています。	
52	駅前通りを自動車が名鉄を潜って通れるようにしていただきたい。				
53	元気のある商店街である大須、秋葉原のように、路地方向へも目を向けるべき。	活力の広がりを、点から線、線から面へつなげていくことが必要であり、中心市街地の中の特色あるストリートづくりとして、路地空間を含めた施策を展開したいと考えています。			
54	北側には4m未満の狭い道があるのだが、風情がある。防災を考慮しつつ「路地のあるまちづくり」を工夫して欲しい。				
55	現状の計画であれば、人は来ないと思う。利便性・優位性・全てにおいて魅力がない。広場で毎週のようにフリーマーケットを行うウクライナの町、広場に屋台が必ずあるイギリス、アメリカ等々市民が憩い・刺激等の求める物が中核都市である豊田市には足りないと感じる。		施設整備やイベントの開催など様々な集客のための取り組みを市民・事業者の皆様と共働して進めていきたいと考えています。計画事業を進めていく段階に応じて、今後ともご意見をいただければ幸いです。		
56	何のための誰のための整備なのか。商業地区であれば、もっと住民を理解させ、より良い方向へ持っていかなければならない。				
57	都市計画法の改正を受けて、全国的に大規模集客施設の出店規制の動きが出ており、とりわけ愛知県においても、県のガイドライン設定、名古屋市、豊橋市の規制が発表された。中心市街地の大型空き店舗発生の苦い経験を持つ豊田市も是非世の中の動きに合わせ、基本計画のなかで検討いただきたい。				中心市街地や地域商業地等との商業機能のバランスを考慮し、特別用途地区の指定も含めて検討しながら、商業系土地利用の適正な誘導を図ります。
58	豊田市の中心市街地にはこだわりの店がほとんど無い。美味しいお店があれば食べに行き、こだわりのブティックなどもあれば楽しいと思う。				
59	豊田市に来街した方の期待感に答えるような車やサッカーなどの街の資源を生かした景観・ショップづくりと来街者支援の土産物ショップの創出などを期待する。				
60	コモには魅力を感じる施設がないので、ぜひ街をぶらぶらしてみたいという施設や店舗の誘致をお願いしたい。特に通りに面した入口が必要。駅前に来たら何でもそろうというような感じで、高級店よりも庶民的なものも望む。				
61	個店にも魅力ある店づくりを期待している。				
62	各商店の自助努力が必要。一店逸品運動はその通りだと思う。				
63	これで本当に昼間の賑わいが出るのかわからない。早く買い物を楽しめる中心市街地になることを願う。				
64	商業販売店がつかまらない。				
65	暖かい駅前商店街の再生のような計画が必要。				
66	今後はハードよりソフトを優先し、魅力ある商店を工夫すべき。				
67	今後さらに活性化を目指すのであれば、どこかの開発に併せて「シネマコンプレックス」ができれば、多くの市民が中心市街地に日常的に集まってくるのではないだろうか。42万人の都心に映画館など遊ぶ施設がないのはおかしいと思う。				
68	中心市街地に大遊園地やプール、水族館・動物園などのレクリエーション施設を積極的に建設すべきである。				
69	「街なか居住」の推進、人口の増大は結構ですが、マンションの乱立も問題である。また、低所得者の住めるアフォダブルな住宅政策を取らないと、多様な人々が住むことができない。	本計画の対象区域における街なか居住誘導については、地域優良賃貸住宅建設費補助制度などにより民間事業者による供給誘導を図るものですが、共同住宅の建設に際しては、用途制限など法規制の遵守を前提に周辺住民とのトラブル防止などについても指導していきます。なお、公営住宅など低所得者に対する住宅政策は、策定中の住宅マスタープランに基づき展開する予定です。			
70	情報提供が少なく、観光客や市外から来る人に冷たいイメージがある。計画の中にある「ウェルカムセンター」の設置は大賛成。更にここでITSのモデルも体感できるとさらに良い。		本計画においても、ウェルカムセンターの整備やイベントのリニューアル等により、市内外を問わず様々な人に分かりやすい中心市街地の情報提供を行うものとしています。		
71	街の総合案内所のような機能の整備を望む。				
72	豊田市はトヨタカップなどで全国へ情報発信できる豊田スタジアムがある。他にもスカイホールや美術館も素晴らしい施設である。しかしながら、施設は立派でも魅力的なイベントが開催されなければ情報発信はできない。すでにある立派な施設を生かして中心市街地の活性化をすべきだと思う。				
73	中心市街地はともに住みやすく、GAZAも生活に欠かせないものになっている。中心市街地の良さをもっとたくさんの人に知って欲しいと思う。もっと、分かりやすく伝えれば、不安も解消すると思う。				
74	トランジットモールは賛成だが、立体駐車場を沢山作ってしまって「自動車中心の交通環境からの転換」は容易ではないと思う。			本計画では、目標2で掲げたとおり、中心市街地へのアクセス性向上を図るとともに、人と車が共存し、安全・安心・快適に回遊することができる中心市街地を目指すものとしています。また、新たな公共交通機関については、関係機関との協議を進め、導入に向けて検討してまいります。	
75	新交通システムは良いが、もう少し網を広げてほしい。長期計画エリア外に大きな駐車場を設けてほしい。				
76	都市部から農村部へ、農村部から都市部へ移動しやすい交通体系を望む。				
77	中心市街地に出かけやすい公共交通機関の充実もお願いしたい。				
78	本案にもある通り、駅前のアーケードは必ずしも使い勝手がいいとはいえない。計画にあるように歩道を拡幅したり次世代交通機関を導入することは必要だ。				
79	車増加につながるこれ以上のマンション建設はやめるべき。渋滞、大気環境悪化につながる。				
80	パーク＆ライド、新交通システム構想などがあるが、そのような面倒くさい手段でも駅前に人を集めるための魅力を持たせることは、今後一層趣味が高度化、多様化する市民相手には無理。車での移動を前提にした計画にすべき。				

番号	分類	提出いただいた意見の要約	意見に対する市の考え方
80		電車を整備すべきだと思う。たださえ名鉄豊田線は料金が割高である。複線にする、線路を立体化させるなどで急行作って名古屋に直行させるべきだと思う。そうすれば自然に街が活性化する。人口40万もいる都市で急行や快速がないのは日本で豊田だけではないだろうか。	中心市街地の活性化には、鉄道の利便性向上も必要ですが、本計画対象区域で完結するものではありません。鉄道の整備については、本計画とは別に、沿線自治体や鉄道事業者と協議しながら取り組む必要があると認識しています。
81	環境	高橋から久澄橋まで球根・宿根・多年草を植え遊歩道を儲け、地元民はもちろん他市・他県からのお客さんを快く招く計画をぜひ行っていただきたい。	緑の拠点の整備を図るとともに、フラワーロード事業による花飾りにも取り組むことも含めて、目標3「緑に包まれた中心市街地の実現」を掲げています。
82		中心市街地における緑の拠点は、豊田市駅前と毘森公園、矢作川に限り、郊外部も含めて考えるべきである。また、花飾りにより重点を置いた方がいいのではないかと。	